



ホタルマップをさしあげます

平成11年版秋田市ホタルマップを作成しました。希望するかたにさしあげます。市役所本庁、土崎支所、新屋支所、環境部へどうぞ。

環境保全課 ☎(866)2075

いじょうないじょうをします

愛犬のフンをぜんぶ堆肥にしています

高橋敦子さん(飯島鼠田二丁目)

愛犬の排泄物をごみに出すことに抵抗を感じ、コンポストに入れて堆肥として利用しています。

畑に穴を掘ってコンポストを置き、犬のふんを入れて、自家精米でた米ぬかと発酵補助剤のEMぼかしを混ぜておくだけ。いっぱいになったら場所を移動します。臭いがするの、住宅密集地ではちょっと無理かもしれませんね。

ほかに、牛乳パックや食品トレイ、包装紙や封筒、トイレトペーパーの芯などできる限りリサイクル。親子四人ですが、ごみは一週間で市販のごみ袋一つだけ。最近では家族も協力してくれるようになりました。



「できることから一つずつ」と高橋さん

生ごみや雑草をポリバケツで堆肥に

中田元さん(手形からみ田)

狭い場所でも使えるよう、ポリバケツで手作りの堆肥ボックスを作り、生ごみ、雑草、枯れた草花などを使って堆肥にしています。発酵を促すため米ぬかや木酢液、嫌気性の微生物発酵剤を混ぜます。バケツのそこにホースを差し水気を抜くのがポイント。臭いはほとんどしません。二、三か月でいっぱいになったら、プランターの草花や野菜に使っています。バラの花なんか楽しみですね。

園芸が好きなので、本を読んで工夫しながら、楽しく無理しないで続けています。子供と一緒に種をまいたりね。軒先に巣を造ったツバメのふんも一緒に堆肥にしちゃいました。



「楽しく無理なくが秘けつ」と中田さん

21世紀の環境はほくたちにまかせて

泉翔太くん、佐藤真衣さん
和田龍彦くん、佐藤麻莉菜さん

金足西小学校では、平成五年から毎年四年生を対象に環境学習を取り入れ、施設見学や地域活動などで、環境への興味と理解を深めています。

「何年かしたらごみの埋め立て地がいつぱいになると聞き、なるべくリサイクルへ」と佐藤真衣さん。

佐藤麻莉菜さんは「みそ汁、油などそのまま流すと水が汚れます。食事も残さないようにしています」

「ジュースを買うときは、リサイクルできるアルミ缶。学校でも集めているしね」と和田くんはニコニコ。

「牛乳パック、トレイはスーパールの回収ボックスへ。おもしろいし、環境にもいいから」と泉くん。
「これからも続けたい」。四人は声をそろえて話してくれました。



リサイクル作品を手に、右から泉くん、佐藤(真)さん、和田くん、佐藤(麻)さん(金足西小5年)